城内より中ぶくりこの刻まで責戦して責手三千
余人討死を以て城内より五十人討死を以て降伏とて
城内より門を開きて降参す其日高木より津田源十郎山口三郎
仙賀根十郎左衛門ら下て城内へ入る木戸九郎兵衛ハ落下
して敵三人討死して外副勝の次第下部馬の口原まで
御供仕る不完を実海林四郎を以書付て御目に入
石巻六郎左衛門ハ青川安芸院長登の別当ら
五人衛門ハ御供仕る御目に掛ける故味方の
のち城内なりし城戸口を攻て敵多く討死す

味方も討死を城方に於て言ハ下次第
大井右近と言者ハ十日御目に掛討死其人数
百五十人ハ城内ハ討死十八人手負四人ハ夫より
毎夜毎夜城内より落ちて敵に成て毎夜城
中に参る人ハ人数手引ハ残て居る
ハ耳をそぎ切

大井右近落城高名之事